

# 産業經濟部観光振興課

(現 総務部行政監理室 厚生主幹)

課長補佐  
本田  
潤



座右の銘

「やるときはやる！遊ぶときは遊ぶ！」

## 経歴

1995.4	採用(総務部)	2010.4	総務部給与厚生課 給与係 主査
1995.6	水道部営業課 事務員	2011.4	環境衛生部清掃事業課 総務係 係長
1999.4	水道部営業課料金係 主事	2013.4	環境衛生部清掃事業課 主査
1999.6	財政部資産税課 家屋第2係 主事	2015.4	総合政策部空港政策課 主査
2006.5	総務部人事課給与係 主事	2017.4	産業經濟部観光振興課 課長補佐
2009.4	総務部給与厚生課 給与係 主事	2019.4	総務部行政監理室 厚生主幹
2010.1	総務部給与厚生課 給与係 主任主事		

## 業務内容について

私の担当業務としては、道の駅「ウトナイ湖」に展望施設を整備したり、国内外から観光客を誘致する事業に取り組んでいるほか、「とまこまい港まつり」や「とまこまいスケートまつり」などの実行委員会事務局の一員としてイベントの企画・調整・運営に携わっています。

また、課内の業務全般を掌握し、部下の担当業務に対する助言・指導なども行っています。

## 仕事・私生活の両立について

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉をよく耳にしますが、仕事と私生活の両立というのは、言葉ほど簡単なことではありません。

それでも、プライベートの時間には、スケジュールを合わせて親しい仲間と飲みに行ったり、休日には所属する軟式野球チームで汗を流したり・・・ということもしています。

家庭では、休暇が取れる時に家族旅行を楽しみ、心身ともにリフレッシュをしています。

## イクボスとして心掛けていること

私自身、3人の娘を持つ現役子育て世代で、仕事と家庭・育児の両立がいかに大変であるかを実感している一人であります。

実際のところ、家庭のことは妻に任せっきりで、私はほとんど何もできておらず、良い見本にはなれませんが、子育て世代の仲間に対しては、少しでも力になれるよう応援していきます。



## 後輩へのメッセージ

「仕事が大変なのは当たり前のこと。でも、その仕事ができることを“ありがたい”と思い、誇りを持ってやり遂げよう。」これは、私の元上司だった方の言葉です。この言葉のおかげで、私はこれまで激務にも耐えてくることができました。

仕事と私生活を両立することは難しいことですが、「やるときはやる！遊ぶときは遊ぶ！」の気持ちを持って、何ごとも楽しく取り組めるように、皆さん、ともにがんばりましょう！



# 会計課

(現 病院事務部経営管理課 課長補佐)

副主幹  
駿河  
まゆみ



座右の銘  
「笑う門には福来る」  
(いつも怒っているのでこれにしています)

## 経歴

1991.4	採用(総務部付)	2007.5	学校教育部第1学校給食共同調理場給食係 主事
1991.6	電子記録課	2007.7	学校教育部第1学校給食共同調理場給食係 主任主事
1995.6	(病)医事課	2010.4	都市建設部住宅管理課補修係 主任主事
1997.4	消防本部総務課	2013.4	都市建設部住宅課補修係 主任主事
1998.4	財政部管財課 主事	2014.4	都市建設部住宅課補修係 主査
2002.4	市民部住民課住民記録係 主事	2015.4	都市建設部住宅課補修係 係長
2006.6	選挙管理委員会事務局選挙係書記	2017.4	会計課 副主幹
2006.7	市民部住民課住民記録係 主事	2019.4	病院事務部経営管理課 課長補佐

## 業務内容について

各課から日々送付される支出命令書が法令に違反していないか、大切な税金が適切に執行されているかなどを審査しています。

## 仕事・私生活の両立について

この二つを両立させるためには、仕事モードのオンとオフの切り替えが大切だと思います。

仕事スイッチオンのままでプライベートを犠牲にすると仕事のモチベーションが下がり、結果的に成果の低い仕事内容になります。

自分に合った切替方法を見つけましょう。

## イクボスとして心掛けていること

子育て世代や介護世代を支援することはもちろん大切です。

でも、独身にも子育てや介護がない人にもワークライフバランスはとっても大切。

どちらかにしわ寄せがこないような『全員でワークもライフも！』の心がけ・仕組み作りが重要だと思っています。



## 後輩へのメッセージ

1人で成し遂げられる仕事などありません。どの仕事も協力・協働が絶対不可欠です。長い就業人生には『頑張っても頑張っても前に進めない、八方ふさがりでどうにもならない、不安でどうしようもない』等、このような場面がやってくる時があります。そんなときは絶対一人で苦しまずに顔を上げて周りを見渡してください。必ず差し伸べてくれる手が存在します。どんなことも全て自分の経験値になり、必ず活用できる日がきますから。